

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	18	学校名	生駒高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) 交通安全マスコット作製と配布 (2) 幼稚園・保育園訪問
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	(1) 2年生履修の「家庭基礎」での実習として、交通安全マスコットの作製を実施。地域の交通安全環境の維持・改善、地域住民及び本校生徒の交通マナー向上、本校生徒の規範意識を高めることを目標として実施。 (2) 3年生選択科目「保育実践」の授業として実施。生徒の将来の目標実現と異世代地域住民の交流の場を創出する。
連携・協働相手	(1) 生駒警察署 (2) いちぶちどり保育園、壱分幼稚園
地域と共有している目標・課題等	(1) 生徒・ドライバー双方の交通安全の意識高揚、地域の交通安全の環境維持・改善および地域の交通マナー・生徒の規範意識の向上 (2) 幼児教育の意義・目標の理解、幼児のあそびと表現活動の実践的理解および幼児・生徒・保育実践者の世代間交流
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	(1) 2年生「家庭基礎」で、交通安全マスコットを作製し、生駒警察署と協働し、近鉄生駒駅前広場において生徒一人一人が交通マナーの向上と交通安全への注意を呼びかけながら配布した。 (2) 地域の幼稚園と保育園で、3年生選択科目「保育実践」選択者が、あそびの補助や絵本の読み聞かせ等の保育業務を実際に経験し、園児との交流を図りながら幼稚園教諭や保育士の実際の業務に直接触れ、多くの学びと気づきを得た。

2. 事業の成果と課題

<p>(1) 生徒たちは、作製したマスコットを手渡ししながら、歩行者に直接声をかけ、やりとりを行うことで、地域の中で果たすべき役割について考えることができた。</p> <p>(2) 地域で実際に働く人々の業務を直に経験する機会や専門的なアドバイスを得ることで、生徒は自らの目指す職業の重要性や必要な技術・知識、心構えを深く再認識することができた。</p> <p>実際の活動場面では、活動を企画し、内容を考える段階から生徒の意見を取り入れて反映させる等、生徒の「主体性」をより引き出し、発揮できる活動としていくことが今後の課題である。</p>
--

